

# ぷらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第53号

古牧だより通算147号

## 25年度 福祉大会開催

—地域に根付いた福祉のために—

古牧地区の福祉関係者が一堂に集まる「福祉大会」が5月24日（金）古牧公民館において総勢150人が参加して開催されました。

また、福祉自動車「あいりーん号」の運行開始から今年で10周年を迎えますが、その間運転協力員として安全運行に協力された4名の方が退任されたので、その功績に対し湯沢古牧住民自治協議会長より感謝状と記念品が授与されました。

この大会は、年度の初めに福祉に携わる委員と関係団体がさまざまな事柄について研修を行うとともに、将来に向け意識の高揚を図るためです。

当日は、来賓として長野市社会福祉協議会の土屋課長補佐と地区内の市議会議員4名の出席を頂き、それぞれの方々から挨拶がありました。

また、本年度新たに就任された、會津淑子部会長から活動方針として①「誰もが心豊かに住みよい福祉のまちづくりを念頭に置き」②「より多くの人とふれ合い支え合うこと」を目指した活動の大切さを訴えられました。

つづいて、福祉三部門の代表より「具体的な年間事業計画」の説明と福祉業務担当者から「地域助け合い事業の現状と課題について」報告されました。

さらに、地区の福祉活動状況について次の2地区から事例発表が行われました。

西尾張部地区は、高齢者を対象に「ふれ合い会食」「お茶のみサロン」を中心とした福祉事業を行っており、役員みずから「お声かけから始まり皆で協力する」をモットーとし



て活動を行っている」と報告がありました。

西和田地区からは、子どもの成長を支えている若いお父さんお母さんの育児の情報交換の場として「子育て広場」を始めた経緯と、孤立化が進む地域社会の対応策として「居場所づくり」としても活用していると報告が行われました。

いずれにしろ両地区とも福祉推進委員会を地区内の諸団体が、しっかりサポートしていることと参加者からの喜びの声が何よりの励みとなっています。特に西和田のボランティアの共同運営、共同開催による、老幼の交流事業活動は参考となりました。

最後は、講演で平林区に分院のある善立寺住職の長原真了先生の「無量寿一はかりなきいのち」をテーマに、住職の体験を通した「人の命の大切さ」を学びました。

### 古牧地区住民自治協議会長表彰者 (福祉自動車運転協力功績)

- 小林 邦利 (平林区)
- 原田 武夫 (東和田区)
- 倉島 進 (東和田区)
- 倉島 隆夫 (元 西尾張部区)





## 子育て支援4年目

—みんなちがって、みんないい—

古牧12地区に子育て支援事業が立ち上げられてから、早いもので4年目を迎えました。

子ども達の目ざましい「育つ力」に、逆にパワーをもらい、若いお母さんお父さん達の「見守り」の大切さを実感しつつそれぞれの地区で工夫をこらした仲間づくりを目指して来ました。

その例として、東和田区では、活動が浸透し3世代交流の場となっています。支援者の15～16人は圧倒的に男性が多く、おもちゃの組み立て等に大活躍です。

会場は公民館の広間で年6回開催しています。毎回10組以上の親子の参加で、すっかり支援活動が定着しています。

また、南長池地区では、古牧東部保育園を

借りて、他地区では及びもつかない恵まれた支援活動を行っています。それは保育士1人が付ききりで、歯科予防、ミニ運動会、プール利用、藤の木の下の砂場、焼き芋大会、等で楽しい時間を過ごしています。

これからは、いそいそと可愛い水着を持参の笑顔あふれる季節を迎えます。

豊かな心のふれあいと地域の子ども、子育て家庭の支援、見守りを、部員一同向上心に燃えて参ります。  
(子育て支援部)



## 「あいさつ」運動実施



5月20日(月)から31日(金)まで、あいさつ運動が実施されました。

運動の実施方法は、13地区が自主的に行うこととして、朝の通勤通学時間帯に合わせて道行く人達に「おはよう」の一声あいさつを実施しました。

大方の人は、あいさつを返して来るので、運動者にとっては気持ちの良い1日の始まりとなりました。

特に小・中学1年生は最初の頃は俯き加減に通り返ける人や運動者の前を避けて回り道をする人がいましたが、運動も終り近くなる頃には、漸くあいさつができるようになってきました。  
(青少年育成部)

## 第12回古牧地区 子ども総会の開催

5月25日(土)古牧公民館において、長野シニアリーダーズクラブの高校生2名のお姉さんと手遊び、指遊び等をして、心も体もほぐれたところで総会が始まりました。

13地区子ども会がそれぞれに工夫を凝らした活動計画内容の発表でした。

これから活動計画に基づき活動を実施していくこととなりますが、季節の変化、交通、水遊び等の事故に対応できる万全な安全体制で、楽しく、おもしろく充実した子ども会活動ができるよう配慮して行くこととしています。  
(青少年育成部)



# 長寿おめでとう



5月17日古牧公民館集会室で開催された古牧地区老人クラブ連合会の定期総会において、長野市老人クラブ連合会長から表彰された、白寿3名、米寿51名、ダイヤモンド婚13組、金婚12組、及び役員多年勤続功労1名の表彰伝達式が行われました。

表彰を受けられた方々には、滝沢古牧地区老人クラブ連合会長から祝状と記念品が授与されました。

また、当日は伝達式に相応しい晴天に恵まれ、来賓の方々から祝辞があり、受賞者の祝宴も100余人の参加者により盛大に行われました。

## 白寿受賞者(99歳)

氏名	区名	氏名	区名
岩下 繁子	中村	竹下 タキ	川端
原 佐一	五分一		

## 米寿受賞者(88歳)

氏名	区名	氏名	区名
森 俊雄	北条	萩原 千秋	南高田
酒井 年江	北条	早川 正枝	南高田
小笹 幸夫	北条	土倉 三四	南高田
池田 由江	中村	青木 清子	南高田
田幸 幾	中村	今井 嘉和	南高田
伊藤 きくい	中村	樋口 ユミ子	南高田
桐澤 幸子	中村	原 三恵	南高田
沓掛 正春	中村	宮澤 貞夫	南長池
猪俣 淑夫	中村	小川 濟一	南長池
黒岩 若子	五分一	小林 よしい	南長池
小林 正宣	五分一	関 はるい	東和田
中村 こと	五分一	上野 盛次	西和田
田島 寿夫	五分一	井原 泰	西和田
小山 富田守	川端	小林 昌三	西和田
増田 長一	川端	平野 竹雄	西和田
渡辺 正司	川端	井原 与市	西和田
三上 文子	川端	堀内 知徳	西和田
関 富美子	川端	小林 幸子	平林
中沢 雄司	川端	中部 邦子	平林
上原 芳子	川端	傳田 新次	平林
内山 富美江	上高田	曾根 ひで子	平林
長田 道雄	上高田	轟 清吉	荒屋
深澤 園	上高田	西澤 俊造	荒屋
岩井 常雄	上高田	西澤 昇	荒屋
野池 光治	上高田	西澤 てる枝	荒屋
戸谷 みつ江	南高田		

## ダイヤモンド婚受賞者(60年)

氏名	区名
川久保 昭志	北条
川久保 静江	北条
玉城 和夫	北条
玉城 守恵	北条
清水 千代	中村
和田 幸一	中村
和田 マサ子	中村
渡辺 功	川端
渡辺 フミエ	川端
土倉 三四	南高田
土倉 たけ子	南高田
徳竹 栄一	南長池
徳竹 イク子	南長池
馬場 幸美	南尾張部
馬場 敏子	南尾張部
平出 悦二	西尾張部
平出 延子	西尾張部
太田 利夫	東和田
太田 やよ枝	東和田
清水 傳治	西和田
清水 みね子	西和田
内藤 昭男	平林
内藤 琴江	平林
滝澤 秀雄	荒屋
滝澤 みや子	荒屋

## 金婚受賞者(50年)

氏名	区名
倉島 頼道	中村
倉島 財子	中村
久保田 省三	五分一
久保田 禮子	五分一
樋口 康治	五分一
樋口 美代子	五分一
柳田 三男	上高田
柳田 みわ	上高田
宮原 弥曾彦	上高田
宮原 貞子	上高田
木村 保	西尾張部
木村 いつ子	西尾張部
国吉 洋一	西尾張部
国吉 やよい	西尾張部
池田 敏行	東和田
池田 智子	東和田
井原 道夫	西和田
井原 きみ枝	西和田
牧田 隆雄	平林
牧田 昌子	平林
渡邊 忠一	平林
渡邊 幸枝	平林
江守 武	平林
江守 みよし	平林

## 長野市老人クラブ連合会長表彰 (役員多年勤続功労)

氏名	区名
飯田 芙美子	平林区



## 古牧市議会議員チームが一役果たす

5月11日上高田さくら公園において、長野市ゲートボール連盟古牧支部主催による古牧地区春季大会に12チームが参加して行われました。

結果は優勝チームは東和田、準優勝は西尾張部、三位は五分一と決まり、最下位は古牧市議会議員チームとなりました。

市議会議員チームは古牧地区に在住する小林義和議員、小林秀子議員、金沢敦志議員、小泉一真議員の4人が党派を越えて、長野市



と古牧のゲートボール支部長を兼務する生駒さんを加えたチーム編成を行い参加されたことは、スポーツ振興の推進とコミュニケーションの高揚を図る場づくりとなるスポーツ事業に、寄与された大会となった。

しゃべえんびつ



### 一生達者で過ごすために

どんな人の身体でも、毎日三千個以上のガン細胞が生まれているといわれております。

それでも全員がガンになる訳でなく、体内にはガン細胞を見つけ出して次々に破壊してくれる頼もしい味方がおり、それがナチュラルキラー(NK)細胞です。

このNK細胞は、白血球に含まれる大型の免疫細胞でガン細胞を丸呑みする細胞ですが最近このNK細胞の元気がない人が増えており、その大きな原因がストレスであるといわれていて、ストレスを感じている人ほどNK細胞の活性が低くガンになりやすいそうです。

この解消法として、大笑いしたり歌ったりおしゃべりしたりして楽しいと感じることにより、NK細胞を活性化させることが肝心であるといわれておりますので、日常生活において「お笑い健康法」を実践したいと思います。

(小穴 孝知)

## 今後の主な事業実施日のお知らせ

住民の皆様ご参加ください

事業名	実施日	場所	事業内容
世代交流グラウンドゴルフ大会	6月15日	古牧小学校校庭	古牧地区の活性化を図る
アメリコ防除活動	6月~8月	13地区	近隣の協力体制で防除
男女共同参画セミナー	6月18日	古牧公民館集会室	講師・加藤長野県副知事
生活改善の推進	7月15日	地区内回覧	生活改善の啓発を図る
男性の料理教室	7月19日	古牧公民館料理教室	奇数月に実施する
健康食講習会	7月下旬	古牧公民館料理教室	回覧などで日時等周知
古牧地区親睦ゴルフ大会	7月24日	長野カントリー	古牧地域住民のコミュニケーションを図る
世代交流マレットゴルフ大会	7月27日	長野運動公園	古牧地区の活性化を図る
中学生球技大会	7月下旬	ヤングファラオ	回覧などで日時等周知

### 古牧地区の世帯数と人口

25年5月1日現在

10,683 世帯

26,170 人

(男 12,872人 女 13,298人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
- 発行者 湯澤 角雄
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 有(小池印刷)